

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆国の税収25年度84.2兆円、6年連続最高 企業業績拡大で法人税伸び

・2025年度の国の一般会計税収が初めて80兆円を超え、84.2兆円程度となったことが分かった。見込み額からの上振れ幅はおよそ3.5兆円となる。企業業績の拡大で法人税が伸びたほか、物価上昇や賃上げによって消費税収や所得税収も増えた。25年度補正予算が成立した25年12月時点では80兆6980億円と見込む。6年連続で過去最高を更新。

#### ◆国の決算剰余金2.6兆円、2025年度 赤字国債発行は3兆円抑制

・2025年度の国の一般会計の決算剰余金がおよそ2.6兆円になったことが分かった。税収が見込みよりも上振れしたほか、予算計上したものの結果的に使わなかった分もあった。赤字国債の発行は予定より3兆円ほど減。税収は84.2兆円程度と過去最高に。企業の業績が好調で法人税収伸長。物価上昇や賃上げもあり、消費税収や所得税収も増。

#### ◆原則無給の介護休暇、有給導入企業は3割 中小支援へ50万円補助開始

・厚生労働省は2026年度から原則無給の介護休暇を有給にした中小企業に最大50万円を補助する事業を始めた。有給の企業は全体の3割程度に上る。導入拡大に向け、企業の制度変更を後押しし、仕事と介護の両立をしやすい環境を整える。介護休暇は単発での活用を想定し、1日や時間単位で休みが取れる。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆全国の生コン出荷量、5月は11.3%減 大都市圏落ち込む

・全国生コンクリート工業組合連合会がまとめた5月の全国生コン出荷量は前年同月比11.3%減の428万4360立方メートルだった。前年を下回るのは45カ月連続。首都圏や近畿、東海など大都市圏で落ち込んだ。前年よりも標準稼働日が2日少なかったことも響いた。全体の約7割を占める民間工事は9.3%減だった。

#### ◆建設資材「確保できている」6割 一方で工事への影響も 政府調査

・国交省は第11回「中東情勢に関する関係閣僚会議」の中で、建設・住宅資材の供給状況に関する一人親方・工務店などへのアンケート結果を公表。事業者のうち63%は平時の取引先や建材店、ホームセンター、在庫などにより「資材が確保できている」と回答。19%が「一部資材の必要量が確保できていないが、工事への大きな影響はない」と回答。

#### ◆定期借家マンションの家賃、東京23区で上昇加速 貸し手が強気設定

・契約期間の満了後に更新がない「定期借家」契約のマンション家賃の上昇が東京23区で加速。ファミリー向けの大型物件では定期借家の平均家賃の上昇率が普通借家を上回る。貸し手が優位な家賃を設定しやすい市場環境にあることを物語る。不動産情報サービスのアットホームが自社サイトに登録・公開された賃貸物件を調査。

### 《 注目商品 》

#### ■リンナイ、シニアのガス火調理をサポート

・ガス火調理の不安を解消するため、認知症当事者や介助者の声を取り入れて開発された「SAFULL+」シリーズに、ガステーブルコンロを追加。聞き取りやすい音声ガイドと大型ごとくを採用。鍋を置きやすくし、バーナーに触れるリスクを軽減。



#### ■TOTO、造作風洗面化粧台に新アイテム・新色を追加

・洗面ボウル、水栓金具、カウンター、鏡、キャビネットを組み合わせる造作したようなデザインを実現できる洗面化粧台「drena(ドレーナ)」を4年ぶりにモデルチェンジして発売。洗面台下に新たに「オープンキャビネット」をラインアップ、効率よくモノを出し入れできる。



#### ■YKK AP、スクエア形状のポスト・宅配ボックス一体型機能ポール

・シンプルなファサードを提案する新しいエクステリアシリーズ「オルフェス (allFACE)」。スクエアフォルムと洗練されたディテールの郵便ポスト・宅配ボックス一体型機能ポール「オルフェス ポストユニット」を6月1日発売。水平・垂直ラインのシンプルな外観に調和するエクステリアシリーズ。

